年度末報告書（実行団体）

● 提　出　日　：　2022 年 3 月 31 日
● 事　業　名　：　共に生きるまちづくり支援事業
● 資金分配団体　：　ヒューファイナンス大阪
● 実 行 団 体　：　公益財団法人住吉隣保事業推進協会
● 新型コロナウイルス対応緊急支援助成（通常枠での追加助成）の有無　：　☑有　☐無

① 実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況＊
気軽に相談ができる場所があることを知って、利用してもらう。	①相談機関があることを知っているか(認知度) ②相談機関を利用したことがあるか（利用度）	〈2022 年度住吉地区暮らしのアンケート調査（仮)〉 →相談相手を聞く項目で「住吉隣保館」や地区内施設の相談窓口と答える人の割合を合わせて 30%以上にする。 〈総合生活相談〉 →2020 年度の相談者数を初期値の 2 割アップにする。 〈法律相談〉 →2020 年度の相談者数を初期値の 2 割アップにする。	2023 年 3 月末での状態とする。尚、2023 年 6 月末をめどに報告書を作成する。	【相談に関する事業】 総合生活相談 234 件 ケース会議 332 件 （教育：179 件、就労：54 件、福祉 99 件） 無料法律相談 9 件	2

自分らしくいられて安心できる居場所があることを知って、参加してもらう。	①居場所があることを知っているか（認知度） ②居場所に参加したことがあるか（利用度）	〈2022 年度住吉地区暮らしのアンケート調査（仮)〉 →「地域で利用している居場所がある」「居場所があることを知っている」と答える人の割合を 20%以上をめざす。 〈居場所・食育事業〉 2022 年度の居場所・食育事業の参加者数を初期値の 2 割アップにする。	2023 年 3 月末での状態とする。尚、2023 年 6 月末をめどに報告書を作成する。	【住吉べんきょう会（自主学習支援の場)】 小学生の部：43 回実施参加延べ人数 131 人 中学生の部：87 回実施参加延べ人数 381 人、高校生参加のべ人数 46 人 ボランティア参加延べ人数 350 人 【寿こども料理食堂】 21 回実施 参加のべ人数 136 人 （就学前 15 人、小学生 43 人、中学生 66 人、高校生以上 12 人） ボランティアのべ人数 36 人	2

誰かの・地域の役に立つ機会（「出番」）があることを知って、参加してもらう。	①得意なことを発揮できる場はあるか(認知度) ②地域の活動に参加したことがあるか(利用度)	〈2022 年度住吉地区暮らしのアンケート調査より〉 →「住民同士の交流や協力体制がある」と答える人の割合を 20%以上とする。 〈どっこい隊事業〉 2022 年度のどっこい隊事業の参加者数を初期値の 2 割アップにする。	2023 年 3 月末での状態とする。 尚、2023 年 6 月末をめどに報告書を作成する。	【どっこい隊事業】 ①どっこい隊の登録 65 人 ②どっこい隊ミーティング 12 回開催 ③どっこい喫茶 12 回実施 ④学習会 2 回 ⑤その他の活動：草刈り 2 回、網戸張り替え 1 回、クリーンアップ（地域清掃）1 回、障子貼り替え 1 回、など	2

アンケートや聴き取りなどを通して、「居場所＆出番マップ（仮）」を作り、活用する。	①住吉地区およびその周辺にある相談機関、居場所、出番創出の機会についてどれくらい知っているか（認知度） ②住吉地区およびその周辺にある相談機関、居場所、出番創出の機会とどれくらい連携できているか（連携度）	住吉地区およびその周辺を拠点とする支援者を対象に、指標①、②について再度アンケート調査および聴き取り調査をおこなう。初期値の 30%アップをめざす。	2020 年度中にアンケート調査、聴き取り調査をおこなう。 2021 年 3 月末までに「居場所＆出番マップ（仮）」を作成する。 2023 年 3 月末での状態とする。 尚、2023 年 6 月末をめどに報告書を作成する。	住吉区社会福祉協議会、住吉区北地域包括支援センター、住吉区北エリアコミュニティ・ソーシャル・ワーカー、当法人のメンバーによるプロジェクト会議を 11 回開催。 2022 年 3 月に、『居場所・出番マップ』と『別冊』（住吉第五町会版）を発行することができた。 作成にあたっては、15 団体から、23 の居場所と出番につながる活動、7 カ所の身近な相談窓口について、アンケートや聴き取り調査の協力をいただいた。	2

新型コロナウイルス感染防止にむけた体制づくりを行い、コロナ禍においても事業を実施できるようになる。	新型コロナウイルス感染防止のため、対面活動時の感染予防対策、飛沫感染防止対策、居場所事業の整備などをおこなうことで、予定している事業の実施率。	新型コロナウイルス感染防止のため、指標に掲げた整備を行い、開催した事業実施 100%	2021 年 9 月		2

＊進捗状況：1 計画より進んでいる 、2 計画どおり進んでいる 、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
3.課題がある
2.アウトカムの状況
A：変更項目 ☐変更なし ☐短期アウトカムの内容 ☐短期アウトカムの表現 ☑短期アウトカムの指標 ☑アウトカムの目標値
3. 活動に関する報告
新型コロナウイルス感染症の拡大防止の対策を取りながら、何とか各種活動を概ね実施することができた。 相談活動では、相談者の困りごとの解決に向けて、断らない相談、伴走支援、継続支援、などを心がけた。また、専門機関へ丁寧につなぐことを意識した相談対応をおこなってきた。その結果、同じ相談者がリピートして相談に来られることも少なくない。 住吉べんきょう会や、寿こども料理食堂に参加していた子どもたちが、障子貼り替えやどっこい喫茶といった、どっこい隊の活動に参加することで、世代を超えた交流が生まれてきた。 「居場所・出番マップ＆別冊」の製作を通して、多くの組織や市民ボランティアとのつながりを広げることができた。 最初の計画では、2016 年に実施した暮らしのアンケート調査の数値を初期値として、相談者や居場所に参加する人数の 20%～30%増をめざしていた。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により活動を縮小せざるを得なくなっており、指標や目標値を見なおす必要がある。
6. 新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点
事業全般では、定員の削減、換気、アルコール消毒、非接触型の検温器の設置、オゾン発生器の設置、パーテーションの利用、手洗い、マスクの着用、をおこなった。寿こども料理食堂や、どっこい喫茶では、持ち帰り形式とした。

③広報に関する報告

1. シンボルマークの使用状況
☑自団体のウェブサイトで表示している　☑広報制作物に表示している ☑報告書に表示している　☑イベント実施時に表示している　☐その他 →「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）：
2. 広報
1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等） 2021 年～2025 年 NHK 放送大学「子どもの人権をどう守るか」第 6 章　「子どもの人権を支える社会福祉支援」 2021 年 4 月 28 日(水)17 時～21 時　朝日放送「キャスト」 2021 年 9 月 19 日(日)21 時～22 時　NHK スペシャル 2.広報制作物等 3.報告書等 「2021 年度事業報告書」 4.イベント開催等（シンポジウム、フォーラム等）

④規程類の整備に関する報告

1. 事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
☑完了　☐整備中
2. 整備が完了した規程類を web サイト上で広く一般公開していますか。
☑全て公開した　☐一部未公開　☐未公開 →「一部未公開」「未公開」を選択した場合の理由と公開予定日：

3.　変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。
□はい　　□いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：

⑤ガバナンス・コンプライアンスに関する報告

1.　社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。
☑はい　　□いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
2.　内部通報制度は整備されていますか。
☑はい　　□いいえ →「はい」の場合の設置方法（複数選択可）：□内部に窓口を設置　　□外部に窓口を設置　　□ JANPIA の窓口を利用
3.　利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
☑はい　　□いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
4.　関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか
☑はい　　□いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
5.　コンプライアンス委員会は定期的に開催されていますか。
☑はい　　□いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
6.　報告年度の内部監査又は外部監査を実施予定ですか。（実施済みの場合含む）
☑内部監査を実施　　□外部監査を実施　　□実施する予定がない →「実施する予定がない」を選択した場合の理由：

添付資料

活動の写真（画像データは 1 枚 2 MG 以下、3～4 枚程度）